

平成30年度避難地域復興拠点推進交付金 基金事業計画書

【事業の内容】

(単位:千円)

No	事業名	事業実施主体	事業経費			目標	事業計画概要(事業の目的・内容・完了予定期日・経費の使用 方法・算出根拠を含む)
			基金充当費	単独経費	計		
1	檜葉町コンパクトタウン整備事業 (中満南団地住宅用地取得・造成 事業(第2工区))	檜葉町	467,702	397,486	865,188	分譲住宅地の整備を含めた、コンパクトタウンの整備を早急に進めることにより、原子力災害からの復興を加速するとともに、住民の早期帰還、落ち着いた暮らしができる生活拠点の形成、長期避難者や企業の就業者・研究者などの、異なる属性の方々も含めた交流機会の醸成を目指す。	<p>1 事業の目的</p> <p>町では平成26年4月に「檜葉町土地利用計画アクションプラン」を策定し、その中で町民、町内事業者の暮らしの再生と新たな居住を促進するため、双葉郡と共に歩む復興拠点としてコンパクトタウン整備を位置づけた。</p> <p>主なコンパクトタウン整備施設は、①住宅ゾーン(災害公営住宅、借地・分譲)、②医療・福祉施設、③商業・交流施設、④市民農園・親水公園となっており、その中で、住宅ゾーンとして整備する予定の分譲団地については、1工区を避難地域復興拠点推進交付金により整備している。</p> <p>今回、2工区の住宅用地の取得及び造成に係る費用に活用可能な制度がないため、避難地域復興拠点推進を活用し、施設を整備することで復興計画の推進を図る。</p> <p>2 事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総面積 A=40,300㎡(開発面積、別途区域外調節池あり)</li> <li>・戸数 戸建て:33戸(約480㎡/区画) 集合住宅:6棟(約1,020㎡/区画)</li> </ul> <p>※ 工事完了予定期日 平成30年12月28日</p> <p>3 交付対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の算出根拠(合計 467,702千円)</li> <li>事業費 865,188千円 - 分譲額 397,485千円 - 単費 1千円 = 467,702千円</li> <li>ア:事業費内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・確定測量 10,189千円</li> <li>・用地取得費 151,614千円</li> <li>・造成工事費 647,385千円</li> <li>・造成工事費(水道) 56,000千円</li> </ul> </li> <li>イ:分譲額 <ul style="list-style-type: none"> <li>・60千円/坪 × 6,624.75坪 = 397,485千円</li> </ul> </li> </ul> <p>4 平成30年度実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成29年度実施(H29支出 151,614千円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得費:151,614千円、造成工事費:647,385千円</li> <li>造成工事費(水道):56,000千円</li> </ul> </li> <li>○平成30年度に実施予定(10,189千円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・確定測量:10,189千円</li> </ul> </li> </ul> <p>5 平成30年度当初基金保有額</p> <p>町の事業用特別会計へ全額繰り入れて運用している。</p>

平成30年度避難地域復興拠点推進交付金事業 基金事業計画書

【基金の運用計画】

(単位:千円)

事業区分	基金の保有区分	平成30年度 当初保管額	運用益繰入 予定額	平成30年度 支出予定額	平成30年度 年度末保管予定額
平成30年度 避難地域復興拠点推進交付金事業	普通預金	0	0	0	0
合計					

※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること

※ 基金の保有区分は避難地域復興拠点推進交付金交付要綱第14条第4項で定める基金の運用方法を参考に記載すること

※ 運用益繰入予定額は保有区分ごとの利率を参考に見込み額とを記載すること